



# 文化博物館だより 第219号

2008年7月6日

みなさん、こんにちは。暑い日が続いていますね。梅雨明けは、そろそろでしょうか・・・

## ● ギャラリートーク

『郷土作家シリーズ 桧山厚写真展』のギャラリートークが、7月5日（土）、桧山さんご本人によって行われました。特別展示室に集まった観覧者の方々に、「なんでも聞いてください」と桧山さんが気さくにおっしゃると、「これはどの辺りから撮られたんですか？」「機材はどのようなものを使われているんですか？」などなどの質問が。

それに答えながら、撮影した時の状況や作品にまつわるエピソードを話し、明石海峡大橋を撮り始めるきっかけとなった「紅焼」を紹介されました。



作品を前に説明する桧山さん

今月13日（日）までの前期展では、明石海峡大橋がかかる前の風景や橋の主塔が立ちケーブルが張られていく様子、初めてのイルミネーション点灯などの作品を展示しています。参加された方からは、「今では撮ることの出来ない貴重な作品ですね」といった感想がありました。

桧山さんは最後に、作品「異形」の前で、「私はアマチュアの写真家なので、仕事をしながら撮影してきました。写真は独学なので、先生はおりません。皆さんもぜひ、この現場に行って写真を一枚撮ってみてください」と話し、締めくくりました。

## ● 7月のイベント・空き状況

申込みはお電話で。

078-918-5400

十二単・鎧・衣冠の着付 要観覧料

7月27日（日） 午後2時 ..... 鎧（衣冠） 1名  
午後2時40分 ..... 十二単、鎧（衣冠） 各1名ずつ

さおり織でコースター作り 費用100円（別途、要観覧料） ※作品の持ち帰りあり

7月26日（土） 午前10時～午後3時 1人20分ずつ 20名分空き